

2025年9月25日
株式会社SVPジャパン

SVPトレンド調査 「現代の消費者行動に関する調査分析」【総括】 ～アジア4カ国のZ世代～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、『現代の消費者行動に関する調査分析～Z世代 アジア4カ国編～』と題し、経済成長やデジタル化の進展が著しいアジア4カ国（中国、韓国、インドネシア、ベトナム）のZ世代を対象に、消費行動の調査・分析を実施。今回はその総括として、各国の消費行動に関する特徴や日本のZ世代との共通点・相違点を明らかにする。

■ 調査目的

Z世代の消費行動について、中国、韓国、インドネシア、ベトナムを対象とし、日本のZ世代との比較を通じて、当該セグメントの特徴をまとめる。

■ 調査概要

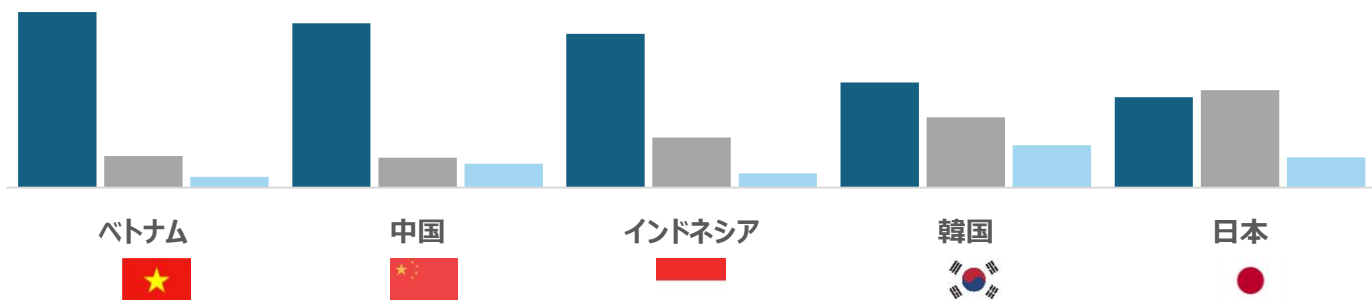
調査時期	2025年4月～2025年7月
調査方法	インターネット調査
調査対象	中国、韓国、インドネシア、ベトナム ※中国は北京・上海の2都市を対象
有効回答数	中国：400名（北京200名、上海200名） 韓国：400名 インドネシア：400名 ベトナム：400名 全体合計1,600名
調査機関	株式会社マーケティングアプリケーションズ

※注記：日本のZ世代については、[【SVPトレンド調査2024「Z世代編（第2回目）」】](#)の結果と[【SVPトレンド調査2023「Z世代の将来像について」】](#)の一部設問結果を参考にしています。

■ 5カ国全てにおいて、消費支出は増加傾向

この1年間の消費支出の変化

■ 増加した ■ 変わらない ■ 減少した



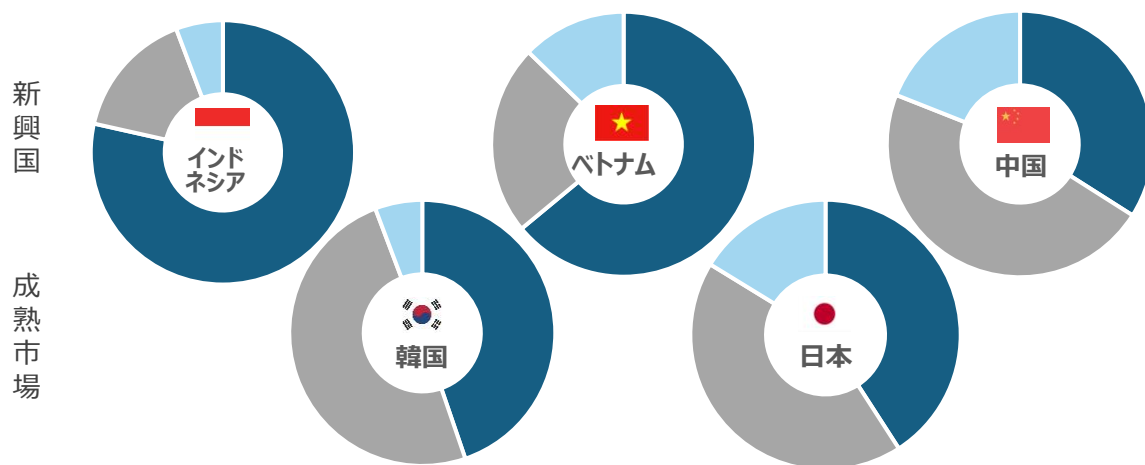
質問：「消費支出」についてお伺いします。あなたの「消費支出（全体）」は、この1年間で、どのように変化しましたか。

回答者数：全体（n=2400）、中国（n=400）、韓国（n=400）、インドネシア（n=400）、ベトナム（n=400）、日本（n=800）

■ 新興国と日本・韓国の間に明確な消費意識の差

今後の消費意向

■ 節約するつもり ■ 今と変わらない ■ 今よりも消費を拡大させる



質問：今後の消費意向についてお聞かせください。

回答者数：全体（n=2400）、中国（n=400）、韓国（n=400）、インドネシア（n=400）、ベトナム（n=400）、日本（n=800）

調査結果から、アジア新興国と日本・韓国の消費意識には明確な違いがみられた。**新興国では物価高騰や将来不安を背景に節約志向が強まり**、特にインドネシアやベトナムで家計防衛の姿勢が鮮明となっている。一方、**中国では節約意識は一定程度あるものの、消費を維持・拡大しようとする層も比較的多くみられる点が特徴的だ**。これに対し、また「消費を変えない」とする回答が多く、大きな行動変化を計画していない人が半数近くを占める。**日本と韓国では、節約意向は新興国ほど高くはないものの、慎重な消費スタンスが続いている**。消費拡大意向は限定的で、安定した生活の維持を重視する傾向が強いことが浮き彫りとなった。

■ 本レポートの構成

- ・消費支出の推移
- ・消費に対するコスト意識
- ・購買決定要因
- ・重視する情報源と購入方法
- ・今後の消費意向
- ・各国Z世代の消費行動の特徴
- ・企業への提言
- ・おわりに



■ 本レポートの論点

今後に向けて企業は、下記への対応が求められると、本レポートで結論付けている。

新興国（中国、インドネシア、ベトナム）、成熟市場（日本、韓国）

1. 製品・サービス戦略

新興国：「価格と品質」と「体験と自己実現」の両軸を重視した商品・サービス開発がカギ
成熟市場：安心・安全や環境といった生活防衛的価値の提供が重要

2. チャンネル戦略

新興国：EC・SNS・ライブコマースとリアル店舗の併存が基本
成熟市場：店舗・EC・クチコミを組み合わせたハイブリッドな導線設計がポイント

3. プロモーション戦略

新興国：インフルエンサーによる動画配信やSNS上のクチコミ、体験イベント、割引が効果的
成熟市場：信頼性やブランド価値の訴求がカギで、デジタル施策との両立が求められる

4. DX戦略

新興国：スマホ・SNSファーストの消費体験が主流で、データドリブンなプロモーション最適化が差別化要素
成熟市場：信頼性とパーソナライズを両立させ、顧客データと体験設計を融合させることが重要

■ 詳しくは、本編レポートに記載。※下の画像をクリックして、会員専用サイトからご覧ください。



■購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

※本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購読いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求



お問い合わせ



SVPトレンド調査更新スケジュール・・・毎月第3木曜日の発刊を予定

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com

※本レポートの内容、画像等の一部もしくは全部の複製、無断での転載・複写をお断りいたします。